

平成30年8月

定例教育委員会会議録

十日町市教育委員会

平成30年8月定例教育委員会会議録

- 1 開催日時、会場
平成30年8月24日（金） 13時30分～15時20分
川西庁舎 4階 第1研修室
- 2 出席
蔵品泰治教育長、吉楽隆一委員、庭野三省委員、佐藤美佐子委員、浅田公子委員
- 3 説明のため出席した者
子育て教育部長（樋口幸宏）、文化スポーツ部長（富井敏）、教育総務課長（長谷川芳子）、学校教育課長（山岸一朗）、指導管理主事（山本平生）、生涯学習課長（鈴木規幸）、文化財課長（佐野誠市）、スポーツ振興課長補佐（相場俊伸）
- 4 議決事項
 - ・議案第1号 平成30年市議会第3回定例会提出補正予算案の承認について
 - ・議案第2号 平成30年度（平成29年度実績）十日町市教育委員会事務の管理・執行状況点検・評価報告書の承認について
- 5 報告・協議事項
 - (1) 報告事項
 - ・共催・後援等報告
 - ・報告第1号 損害賠償について
 - ・報告第2号 平成30年度NRT学力検査、全国学力・学習状況調査に基づく学力状況について
 - ・報告第3号 クロアチアホストタウン推進事業について
- 6 その他
 - ・十日町市学区適性化検討委員会について
 - (1) 最近の動きについて
 - ・教育長、各部長、各課長
 - (2) 9月の主な行事予定について
 - (3) 次回の教育委員会の開催日時
- 7 会議の内容
 - (1) 7月定例会会議録の承認
署名委員：庭野委員、吉楽委員
 - (2) 会議録署名委員の指名
署名委員：吉楽委員、佐藤委員
 - (3) 議決事項
 - ① 議案第1号 平成30年市議会第3回定例会提出補正予算案の承認について
蔵品教育長
 - ・議案第1号を上程し、事務局の説明を求めた。

長谷川教育総務課長
・資料に基づき説明

山岸学校教育課長
・資料に基づき説明

鈴木生涯学習課長
・資料に基づき説明

相場スポーツ振興課長補佐
・資料に基づき説明

(特に質疑等なく議決された)

② 議案第2号 平成30年度(平成29年度実績)十日町市教育委員会事務の管理・執行
状況点検・評価報告書の承認について

蔵品教育長
・事務局の説明を求めた。

長谷川教育総務課長
・資料に基づき説明

吉楽委員
・NRT学力検査が全てではないが、ホームページや一般の方に重点目標に対して現状がどうなのか数値的に表すことが可能か。

山岸学校教育課長
・ホームページに掲載はしていないが、市報等で広報している。

吉楽委員
・学力向上を今までテーマとして取組み、現状が中間点まで到達してきているという成果としての評価が必要と思う。その点を発表できないか。

蔵品教育長
・市報で公表する際には、その点もはっきり解り易いように表記したい。

庭野委員
・学校教育の充実①学力の向上の課題・改善策にある「自己有用感の向上」について、ある保護者から相談があり、学年全体の家庭へのプリントで、最後に原因は自己有用感が欠如しているとなっていた。自己有用感の有る無しを簡単に決め付けるのはいかがなものか。教職員が子どもに愛情が足りないのではないかと見える。子どもの問題を自己有用感が足りないからと安易にもっていかないよう指導してほしい。子どもがだめなのは、自己有用感が無いからというのは酷いことである。

山岸学校教育課長
・自己有用感が持てないということの責任は教師側にあるわけなので、それが足りない子どもたちが悪いというのはおかしいと思う。そういったことも指導していきたい。

庭野委員

- ・学校が逃げてはだめ。自己有用感が足らなければ、もたせるにはどう関わればいいのかを考えないで、自己有用感が足りないからこういう子どもになった、と言うようなら救いようが無い。

蔵品教育長

- ・今年8月上旬の研修会で自己有用感の持たせ方について研修したばかりである。

山岸学校教育課長

- ・学校の行事だけでなく、普通の授業の中で自己有用感をもたせるような具体的な取り組みをしてくださいということを指導してきたが、指導が足りなかったということで反省している。

佐藤委員

- ・学校で子どもたちを褒めることを行っている。そのことで自己有用感をもつようになってきているという記事を見た。やる気をもたせ、勉強だけでなく運動でも何でも良いので、子どもたちが活躍できる場があればいいと思う。

庭野委員

- ・どんなことでも良いというが、教職員の捕らえ方が狭いのではないか。運動と勉強の二つで見れば確実に教室であぶれる子どもが出る。その子らしい良さをどうやって見るのか。目立てば誰でもわかるが、そうでない子どもがどうやって自己有用感をもつことができるかを学校で真剣に取り組んでほしい。

蔵品教育長

- ・やさしさとか忍耐強さとか特徴があれば、それを褒めることもできると思う。

浅田委員

- ・子どものキャラクターもあると思うが、目立つ子だけでなく、一人ひとりの話を聞いてもらえるような教育が良いと思う。家庭でもできるだけ前向きな話をしていくことが良いと思う。

(以上の質疑のあと議決された)

蔵品教育長は、別途公務により退席し、教育長職務代理者である吉楽委員が議長となる。

(4) 報告・協議事項

① 共催・後援等報告

- ・資料のとおり

② 報告第1号 損害賠償について

吉楽教育長職務代理者

- ・事務局の説明を求めた。

長谷川教育総務課長

- ・資料に基づき説明

(特に質疑等なく了承された)

③ 報告第2号 平成30年度NRT学力検査、全国学力・学習状況調査に基づく学力状況について

吉楽教育長職務代理者

- ・事務局の説明を求めた。

山岸学校教育課長

- ・資料に基づき説明。

吉楽教育長職務代理者

- ・今後の指導に活かすということだが、保護者がどういう風に子どもと接するかの視点で、家庭学習の時間の問題や前からのテーマである自己有用感という部分も、学校の教師だけでなく家庭との関係では必要と思う。各学校がどういう現状で子どもたちはこうであると、PTAや保護者に対しての働きかけをどう考えるか。

山岸学校教育課長

- ・学校で分析したうえで、この部分は保護者や地域の人達に、例えばメディアコントロールなどを知らせること。学力検査の点数をそのまま全国と比べてどうかというよりも、学校で保護者にどういう風に伝えたいか。コミュニティスクールの中で保護者全体に素直なデータを示して承知していただくこともあると思うし、保護者に対しても有用な情報についてはお知らせするよう取組みたい。

吉楽教育長職務代理者

- ・教育委員会からアプローチして、学校側の具体的な行動としてある程度情報を出していくことになるのか。

山岸学校教育課長

- ・メディアに触れる時間が長い年は、市全体で点数が低いことを分析できた。それを校長会で示しながら保護者に対してこういう数値を使うと良いなど、地域の方々にもお知らせして皆さんの気持ちが同じ方向に向かって行くと良いと紹介している。

庭野委員

- ・3ページに「自分にはよいところがあると思いますか。」に対する回答があるが、大人でも答えるのが難しいと思う。ところが、はっきりと自信を持って答えられる生徒もいるので驚いたが、全員に要求するのは無理である。学級・学校の中で、そのくらいの良さと言うものを仲間も教師も言い合っているのか。私は30年ぶりに教え子の同窓会に行ってきたが、私が担任だったクラスの女の子が学級通信に友達の一人ひとりの良いところを全部書いていたものを持って行った。こういう雰囲気学級、学校がどれだけもっているかで、その子が認められる状態になっていくと思う。なかなか難しいが、教師が積極的に子どもの良さや面白さを含めて認める形をもって、それを子どもたちがA君に対しこういう見方があるのかと、その子の良さが解るといような醸成がどれだけされているか。一人ひとりの良さを認めるということは、学校全体のチームワーク力を高めることになるが、それが弱くなっているように思う。

山岸学校教育課長

- ・ほんの少しのことでも認め合えるような学級づくり、学校づくりが必要だということを感じた。

佐藤委員

- 褒められたことは、ずっと心に残っていて、声が大きいても元気が良いねでも良いので、ちょっとしたことを気に掛けてくれる先生が増えたら良いと感じる。家庭でもどんどん褒めるように、自分の子でも褒めて良いと思う。親子、家庭の中でも尊敬を持つと子どもたちに良い影響が出るように思う。悪いことばかりを言っている人間関係が多いと思う。
- 読書の時間が増えているので良いと思うが、他にメディアとかネットやゲームをしている時間もそれ以上に多いのではないかと思う。テストの結果を見ると応用力が無いみたいに書かれていたので、読書の時間が増えていると言ってもそれほどでもないかと思う。

浅田委員

- 自己有用感を高めるための具体的な方策は何かということと娘と話をした。3ページの「自分にはよいところがありますか。」という質問があるが、娘が中学の面談の際に、娘のよいところを書いてある紙を見せられた。ひとりに対してクラスの子どもたちがよいところを書いて、一人ひとりの子どもに紙を渡していたようだ。いつも良い事ばかり書かれて娘もうれしかったと思う。友達のよいところを見つけて教えてあげるのもひとつの方法かと思う。計画的にアンケートをとることで、積極的に自分のよいところは何かと、考える機会も大事ではないかと思う。

(以上の質疑のあと了承された)

④ 報告第3号 クロアチアホストタウン推進事業について

吉楽教育長職務代理者

- 事務局の説明を求めた。

相場スポーツ振興課長補佐

- 資料に基づき説明

庭野委員

- 事前キャンプというのは、日韓ワールドカップから交流があるサッカーだけで、他の種目はわからないということか。具体的には、陸上競技場、総合体育館、クロアチアピッチで、種目は限られると思うのだが。

相場スポーツ振興課長補佐

- 十日町市としては、柔道と陸上とサッカーを考えているが、そのほかの種目についても施設が可能であれば、クロアチアオリンピック委員会が選ぶ可能性はある。

富井文化スポーツ部長

- オリンピックだけでなくパラリンピックもあるので、何らかの種目がクロアチアから出場されると思うが、予選を勝ち抜かないと出場できないため、どの種目になるかを決めることは難しい。ワールドカップでの繋がりもあるので、何らかの種目が合宿に来てくれると思われる。具体化すれば、覚書を取り交わすことになる。

(以上の質疑のあと了承された)

8 その他

- 十日町市学区適性化検討委員会について

吉楽教育長職務代理者

- ・事務局の説明を求めた。

長谷川教育総務課長

- ・資料に基づき説明。
- ・7月3日に第1回の検討委員会を開催し、その後学校視察を行い、7月30日に第2回の検討委員会を行った。第2回の検討委員会では、学校視察等を踏まえ3グループに分かれてワークショップ形式で、適正規模の学校及び学区について課題・問題点や課題の解決方法などについて意見をいただいた。9月下旬に第3回の検討委員会を開催する予定で、年度末に向けて方針を検討する。

(1) 最近の動きについて

- ・各部長、各課長等が資料に基づき説明

(2) 9月の主な行事予定について

- ・資料に基づき説明

(3) 次回の教育委員会の開催日時

9月定例教育委員会 9月25日(火) 13時30分から開催することに決定した。

以上で、15時20分に吉楽教育長職務代理者が閉会を宣言した。

以上の会議録に誤りがないことを認め、ここに署名する。

会議録署名委員

会議録署名委員

会 議 書 記